

科目名	設計製図	科目コード	11300
-----	------	-------	-------

学科名・学年	機械工学科・2年
担当教員	本間 晃（機械工学科）、小川 清之
単位数・区分	3単位・必修
開講時期・時間数	通年，90時間【内訳：講義18，演習72，実験0，その他0】
教科書	林 洋次，機械製図，実教出版
補助教材	プリント
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

設計製図の実技を通してして設計製図の基礎を学ぶ。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
線、各種曲線および文字の書き方を身につける。		d1,d2
投影図、等角図の書き方を身につける。		d1,d2
各種機械要素の製図法を身につける。		d1,d2

【C．履修上の注意】

機械設計技術者として、製図法を身につけることは必須である。CADの時代であっても、基本を手書きを通して理解することの意義は大きい。教官が常時教室内を巡回し、気づいた点を指摘するので不明な点は遠慮なく質問していただきたい。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（0%）【内訳：前期中間0，前期末0，後期中間0，後期末0】

その他の試験（0%）

レポート（0%）

製図課題（100%）

【E. 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	設計製図の概要	
2	線の練習	
3	文字の練習	
4	投影図の練習	
5	同上作業を引き続き行う	
6	同上作業を引き続き行う	
7	等角図の練習	
8	同上作業を引き続き行う	
9	寸法記入法	
10	はめあい	
11	幾何公差	
12	スケッチ	
13	同上作業を引き続き行う	
14	ねじの製図	
-		
15	図面の提出	

後期

回	内容	備考
1	軸受けの製図	
2	同上作業を引き続き行う	
3	同上作業を引き続き行う	
4	プーリーの製図	
5	同上作業を引き続き行う	
6	同上作業を引き続き行う	
7	スプロケットの製図	
8	同上作業を引き続き行う	
9	同上作業を引き続き行う	
10	ばねの製図	
11	溶接の製図	
12	歯車の製図	
13	同上作業を引き続き行う	
14	同上作業を引き続き行う	
-		
15	同上作業を引き続き行う	